

就職活動体験談

内定先 近畿日本ツーリストコーポレートビジネス

文学部英文学科4年 **石川 飛翔**



就職活動において本当に大事だと感じたのは、できるだけポジティブシンキングでいることです。思い通りにいかない時は落ち込むことも必要ですが、落ち込み過ぎても時間は待ってくれません。私は、初めて応募した企業から、応募後1週間ほど経った頃に不採用通知が来ました。出鼻をくじかれてモチベーションが下がりましたが、その会社は自分と縁がなかったと考えて割り切り、自分に合った会社を探し続けました。そして、その後志望していた企業から内定を頂くことができました。この会社の面接は、途中で帰りたと思うほどの手応えのなさだったので、本当に何がおこるかわかりません。恐らく自分の気持ちや話すことの整理など、事前準備をしっかりし、話す内容を暗記せず自分の言葉で話すことができたことが内定につながったと思います。そのため、準備を怠らないのはもちろんですが、面接中も、1つミスしたからといって諦めず、焦らずにすぐに切り替え、次の質問で冷静に受け答えする切り替えの速さと粘り強さが大事です。

就職活動は自分の知らない世界を知れる楽しい一面もあるので、自分を成長させるチャンスだと思って積極的に行動しましょう！

内定先 北洋銀行

経済学部 経済法学科 **金子 一斗**



私は3年生の1月から就職活動を始めました。始めた当初は自分がどんな職に向いているのか、どんな仕事をしたのか何も考えていませんでした。そこで友人数名と合同企業説明会に参加しました。様々な企業のお話を聞くうちに、就職活動への意識が高まってきました。

3月に入ってから、多くの企業の単独説明会に積極的に参加し、同じ企業の説明会にも何度も参加するなど企業研究を進め、エントリーシートを提出しました。

そして3月末には最初の面接がありました。面接の時期は各社違うのでスケジュール管理をしっかりしなければいけません。面接は基本的なマナーが最初はわかりませんでした。また、どうしても緊張して企業に伝えたいことを伝えきることができませんでした。しかし、様々な企業の面接試験を受けるうちに、少しずつ面接の空気にも慣れ、自分の伝えたいことを伝えられるようになっていきました。

就職活動は不安や迷い、焦りなど様々な自分の感情と向き合うことになり嫌なことの方が多いいと思います。しかし、今後の自分の人生を大きく左右するものだと思うので妥協せずに頑張ってください。

内定先 札幌市役所 一般事務（福祉コース）

社会福祉学部福祉臨床学科 **寺町 知華**



私は、第一志望で目指していた札幌市役所の一般事務（福祉コース）に合格することができました。

就職活動をする中で、第一志望に受かることや、そもそも非常に多くの企業の中から第一志望を見つけることは大変なことです。そのような中で、私が就職活動を無事終えられたのは、強い気持ちがあって行動できたからだと考えています。

そもそも、札幌市役所を選んだ理由は、はじめは公務員を選択する人が考えるようなありきたりな選び方でした。しかし、勉強を進めつつ、とりあえず、公務員でも企業研究は大切だと思い、札幌市役所の市政概要等を見ているうちに、札幌市で具体的に取り組みたい仕事を見つけ、強い気持ちに変わりました。それから、札幌市役所に合格するために勉強は勿論なのですが、緊張しやすいため、試験に慣れることが重要だと考え、就職支援課に何度も通い相談に乗ってもらったり、面接練習をしてもらいました。そうすることで、筆記・面接ともに自信をつけて、札幌市役所の試験に挑むことができました。

公務員の就職活動の途中、不安になることも多いと思いますが、勉強を続けてきた過程を忘れず自信を持って試験に挑んでほしいと思います。

内定先 ANA新千歳空港株式会社

短期大学部英文学科2年 **西川 結理**



短大に入学し、あっという間に過ぎる1年。

「就活」という言葉に焦りと不安を感じたのは1年生の11月でした。企業説明会に参加して周りを見ると、みんなが自分より出来るように見えたこと、エントリーシート作成にあたり、長所や自己PRを書こうと思っても何も出てこないこと、その全てに焦りを感じていました。しかし焦りは禁物です。一人で抱え込まず、誰かに相談することが一番の近道であると感じました。

エントリーシート通過後の面接では、自分自身を偽って周りに合わせても、嘘を話しても何の意味もありません。ただ、自分らしく、思っていることを素直に面接官に話すことが一番大事であると感じました。さらに、面接会場にいる人と積極的にコミュニケーションをとることで、自分らしさをより出せると実感しました。面接前に周りの人と仲良くなることで、グループ面接時の緊張はほぐれ、落ち着いて話すことが出来ました。全体を通して、「焦らない、自分らしく素直に、多くの人とコミュニケーションをとる」この三点が大切だと感じました。

就職活動は長く、つらいものでもあります。しかし意志を強く持って自分と向き合える良い機会です。自分の夢を諦めずに頑張ってください。

インターナショナルキャンプ 2019秋 報告

10月19日(土)～20日(日)、今年もEASCOM開催期間に合わせて秋のインターナショナルキャンプを実施しました。今年度からEASCOMには大連外国語大学(中国)、韓国カトリック大学校(韓国)、東海大学(台湾)に、新しくマラナタクリスチャン大学(インドネシア)が加わりました。

参加者66名(交換留学生17名、EASCOM受入生19名、在学生25名、大連外国語大学交流教員1名、マラナタクリスチャン大学職員1名、引率者3名)による旭川方面への旅は雨の出発となりました。

初日は旭川博物館でアイヌの文化や歴史に関する展示物などを見学しました。層雲峡の宿舎では、やはり温泉。早速、浴衣に着替えた留学生もおおしげで温泉を楽しみました。学生たちには学びとさらに交流を深める場になったと思います。

最後にこの場をお借りして、後援会からの本学国際教育活動に対する物心両面のご支援に心より御礼申し上げます。

国際教育課長 高橋麻里子
*EASCOM: 東アジア学生交流プログラム。毎年アジアの協定校から学生を招いて行われる約10日間のプログラム。



「50円朝食キャンペーンを実施しました」

学生医療互助会では、今年度も4月・5月・9月・10月の4回（各1週間）、50円朝食キャンペーンを実施しました。朝食を摂ることで健康管理や生活習慣を改善し、学業や部活動に専念できるように、大学生協と連携して栄養満点な朝ご飯を提供しています。

2016年度から始まったこのキャンペーンは、大変好評いただき毎回100名以上の学生が利用しています。朝食の内容は日替わりで、約400円相当のメニューを提供しており（内、350円分は学生医療互助会負担）主菜・小鉢2品・ご飯、味噌汁の組み合わせで、ご飯はサイズも選択でき、中にはおかわりをする学生もいます。

また、不定期ではありますが、昼食キャンペーン（体育祭）や夕食キャンペーンも実施しています。

学生医療互助会では、今後も学生たちの健康増進をはかるとともに、有意義な学生生活を送れるようあらゆる面からサポートしていきますので、引き続きご理解とご協力くださいますようお願いいたします。



学会開催報告

北星学園大学後援会の補助を受けて

社会福祉学部 教授 田実 潔

北星学園大学後援会の補助を受けて、2019年8月24日（土）、25日（日）の両日、日本発達障害学会第54回年次大会を開催しました。広い意味での発達障害に関わっている医師や研究者、教育者、福祉関係者、保護者及び当事者たちが主な学会構成員で約2000名の会員で構成されています。例年500名程度の参加人数ですが、札幌という遠隔地でしかも北海道マラソンと日程がかぶる中、どれぐらいの参加があるのか心配しておりました。色々頭を悩ませたのですが、教育講演のひとつに渡辺一史氏（「こんな夜更けにバナナかよ」の著者）をお呼びしたり、ラウンドテーブルで発達障害のある人達との交流を企画した結果、400名弱の参集があり、おかげさまでそれなりに盛会となりました。また、今回は本学の卒業生で現在は特別支援学校を中心に教員をしている方々が実行委員会メンバーに参加してくれました。みんな手弁当で協力してくれて、今回ほど卒業生の存在の大きさに気づかされたことはありません。改めて後援会にも感謝申し上げます次第です。ありがとうございました。



星学祭を終えて



第58回大学祭実行委員会 委員長 牛島 優人

10月13日（日）・14日（月・祝）の2日間、第58回星学祭が行われました。

台風の影響で風が強く、肌寒い天候ではありましたが、来場者数は例年と変わらず、模擬店や各種イベントなど大変盛況のうちに終えることができました。

今年度は令和になって初めての星学祭ということもあり、実行委員会では、今まで築きあげたものを見直し、一から作り上げる気持ちで全員が臨みました。新しく企画した、総勢128名という北海道最大規模のスマブラ大会は、事前登録の段階で満員となり、当日は大きな盛り上がりを見せました。また、飛ぶ鳥を落とす勢いで人気急上昇中の「山田裕貴さん」をお招きしたスペシャルトークショーは、事前販売の段階でチケットは完売し、会場の熱気は最高潮でした。皆さまが楽しみにしていた「東京03さん」「ゴー☆ジャスさん」のお笑いライブが、台風の影響で開催できなかったことが心残りです。

今年のスローガンは「星河一天」。星学祭に関わる一人一人が光り輝く星となり、空いっぱいに川のように輝いてほしいという願いを込めました。その願いどおり、ご来場の皆さま、参加して下さったサークルや関係者の皆さま、ご協力・ご協賛いただいた皆さまと共に作り上げ、盛り上げた星学祭は、まさに「星河一天」だったと感じています。

最後になりましたが、すべての皆さまのおかげで、無事に終えることができましたことを、心よりお礼申し上げます。来年度もより一層楽しんでいただけるように、実行委員会一同、全力を尽くしてまいりますので、今後ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。



メモリアルステージでのピンゴ大会

コンサートのお知らせ

Winter マリンバコンサート
「チャペルに響くローズウッドの音色」

日時：12月14日（土）
開場13：30 開演14：00

会場：北星学園大学チャペル

演奏予定曲目：

中田喜直：雪の降る街を

アンダーソン：

フィドルファドル、

ワルツィング・キャット

申込先：同窓会事務局（社会連携課内）

Tel：011-891-2731

メール：dousoukai@hokusei.ac.jp

受付期間：12月13日（金）まで

※入場無料



津野 尚子 (マリンバ)



中谷 友美 (ピアノ)

全国大会出場報告

経済学部 経済法学科 3年 松濱 拓斗

2019年6月30日に姫路市立中央体育館で行われた、第63回全日本学生空手道選手権大会形の部に北海道代表として出場してきました。4月27日に北海道科学大学で行われた北海道予選で2位通過しての参加でしたが結果は予選リーグ敗退でした。予選では、第一指定形、第二指定形の中から各自得意な形を演武し、得点上位4名がROUND2（準決勝）に進出するという形式で行われました。試合では目立ったミスもなく演武できましたが、会場の雰囲気緊張してしまい、余計な力みがあったように感じました。結果は予選リーグ敗退と悔しいものですが、全国の高いレベルの演武や、組手を自分の目で見ることができ、とてもいい経験になりました。また、試合中だけでなく、試合前のアップにも参考になる部分が多くあり、部員達と共有しながら、日々の稽古に活かしています。

空手道部は一度廃部になっていたため、昨年1年間は同好会として活動し、今年度から部活動として再び活動ができるようになりました。設立にあたり、後援会をはじめとした大学関係者や空手関係者の皆さまなど、非常に多くの方々を支えられて今日の空手道部があります。感謝の気持ちを忘れずに、これからも部活動に打ち込んでいきたいです。



スミス・ミッションセンターからのお知らせ チャペル・クリスマスイベント 2019



クリスマスツリー点灯式

日時：12月2日（月）18：00～18：30
会場：B館玄関前（チャペル横）
点灯：大坊 郁夫 学長
司式：SMC学生団体PoleStar
演奏：チャペル・クワイア、NSBC（ゴスペル）

クリスマス礼拝（キャンドルサービス）

日時：12月23日（月）
18：00～19：30（予定）
会場：北星学園大学チャペル
メッセージ：柴 忍氏
（日本キリスト教団江別教会牧師）
司式：日高 嘉彦（チャプレン）
奏楽：米本 悦子（オルガニスト）
演奏：チャペル・クワイア、ハンドベル・クワイア、
NSBC（ゴスペル） 予定



ハンドベル・クワイア クリスマスチャペルコンサート

日時：12月15日（日）
14：00～
会場：北星学園大学チャペル
演奏：ハンドベル・クワイア（本学学生・OG）

いずれも入場無料・申込不要です。

お問い合わせ：総務人事課 011-891-2731（内線4376 担当：寺田）まで

北星オープンユニバーシティ春季集中講座（在学生向け）のご案内

申込期間 2019年12月3日(火)～2020年1月10日(金)

講座名	開講時期／開講時間等	受講料 (後援会から20% 補助しています)	講座に関する説明会
Word2016 スペシャリスト	2020年2月12～14日	9：00～16：00（休憩1時間） 全3回	①12/11(火) ②12/20(金) 場所・時間は社会連携課までお問合せください。
Excel2016 スペシャリスト	2020年2月17～19日		
PowerPoint 2016	2020年2月20～22日		
介護職員初任者研修	2020年2月10日～3月3日	9：00～17：10（休憩1時間） 全15回	①12/17(火) ②1/9(木) 場所・時間は社会連携課までお問合せください。
福祉用具専門相談員指定講習会	2020年3月4～12日	8：50～17：10（休憩1時間） 全8回	説明会はありません。
ビジネス実務マナー検定2級	2020年2月12～19日	13：00～15：30	
ビジネス文書検定2級	全6回	16：00～18：30	
教員採用試験対策講座	2020年2月25～3月5日	13：00～16：10（休憩10分） 全15回	

※予定は変更になる場合がございます。

2020年度開講の講座について

語学系講座、資格系講座など全50講座ほど開講します。申込みは4月上旬の予定です。詳細は次号の後援会だより（3月発行）にてお知らせいたします。

問合せ先 社会連携センター
(C館1階 社会連携課内)
TEL：011-891-2731(代表)

※詳細は大学ホームページをご覧ください。
(下記QRコードからアクセスできます)



あ と が き

長い冬の季節がやってまいりました。6月から始まった地区別父母懇談会も全地区無事に終了いたしました。ご父母の皆様とお会いし、大変貴重な時間を過ごすことができました。今年度も残りわずかとなりましたが、皆様どうか良いお年をお迎えください。（後援会事務局 西藤）

北星学園大学教育振興寄付金ご芳名

募金のご協力を深く感謝申し上げます。2019年7月1日から10月31日まで（敬称略）

寄付 ☆大学・短期大学部（父母・同窓生・旧教職員・理事）
大村 和弘 大平 学 坂本 裕之 植野 晃壽 山崎 孝博
岡田 義明 内山 忍 上口 晃 大山 綱夫